

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	7 社会基盤
----	--------

評価責任者	所属	上下水道局 水道部 水道管路課
	氏名	課長 藤田 佳文

政策	3 ライフラインである上下水道を維持するために効率的な事業運営を推進します
----	---------------------------------------

施策	1 安全でおいしい水の安定供給
----	-----------------

施策の目的	この施策は、上水道施設整備事業「水道管の整備・充実」及び「水道施設の整備・充実」により、給水区域内の水道管や水道設備の整備・充実を図るとともに、計画的な機器の更新を行い、安全でおいしい水を安定的に供給することを通じて、お客さまサービスの向上を目指します。
-------	---

## (1) 総合評価

総合評価	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	理由
	A：施策の目的が達成されている。	A：施策の目的が達成されている。	—	—	全ての事務事業で目標どおりの実施となり、安全でおいしい水を安定的に供給することを通じて、お客様サービスの向上と効率的な事業運営を目指す施策の目的が達成されているため、評価は「A」とした。
	A：施策の目的が達成されている。	A：施策の目的が達成されている。	—	—	全ての事務事業で目標どおりの実施となり、安全でおいしい水を安定的に供給することを通じて、お客様サービスの向上と効率的な事業運営を目指す施策の目的が達成されているため、評価は「A」とした。
	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	0.15%	0.15%	100%	a	
管路の新設率	0.25% (平成30年度)	2	0.19%	0.19%	100%	a		
		3	0.10%	—	—	—		
		4	0.05%	—	—	—		
		1	①約1,600人 ②0%	①約1,600人 ②0%	100%	a		
水道施設整備 ①未整備地区人口 ②整備された地区の人口比	①約1,600人 ②0% (平成30年度)	2	①約1,600人 ②0%	①約1,600人 ②0%	100%	a		
		3	①約1,600人 ②0%	—	—	—		
		4	①約1,000人 ②37.5%	—	—	—		
		1						
指標 成果 以外の			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
上水道施設整備事業（水道管の整備・充実）	「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、給水区域内において、需要に応じた水道管12.8kmの整備を順次進める。（令和2年度水道管整備：4.7km）	1	1	526,976	199,758	314,669	7.0	1.0	0.0	○
			2	321,933	208,941	205,913	7.0	1.0	0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
上水道施設整備事業（水道施設の整備・充実）	「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、給水区域内における未整備地区など需要に応じた施設整備を順次進めていく。（令和2年度：足久保配水池築造）	1	1	88,000	128,013	111,151	3.0	0.0	0.0	○
			2	233,000	88,000	274,005	3.0	0.0	0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	なし	
令和2年度	なし	
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	7 社会基盤
----	--------

評価責任者	所属	上下水道局 下水道部 下水道建設課
	氏名	課長 森田 誠

政策	3 ライフラインである上下水道を維持するために効率的な事業運営を推進します
----	---------------------------------------

施策	2 汚水処理の推進
----	-----------

施策の目的	公共下水道の整備を進めることで、下水道が使用可能となる区域を広げることにより、下水道に係る水環境を守るとともに改善を図り、環境への負荷の軽減を目指します。
-------	---

## （1）総合評価

総合評価	年度	評価	理由
総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	施策を構成する主要事業で目標どおりの実施となり、下水道に係る水環境を守るとともに改善を図り、環境への負荷の軽減を目指す施策の目的が達成されているため、総合評価は「A」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	下水道区域内の整備について、下水道の整備済面積をR2計画「30ha」に対し、「28ha」実施した。具体的な取組として、服織、大谷、西久保、興津地区等の整備を実施した。また、下水道整備率はR2計画「92.7%」に対し、「92.8%」の実績で、達成率は100.1%となったため、総合評価は「A」とした。下水道計画区域内の整備を進めることにより、下水道が使用可能となる区域が広がり、公衆衛生の向上につながる。
	令和3年度	—	理由
	令和4年度	—	理由

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## （2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	92.4%	92.5%	100.1%	a	
下水道整備率	92.0% (8,935ha) (平成30年度)	2	92.7%	92.8%	100.1%	a		
		3	93.0%	—	—	—		
		4	93.3%	—	—	—		
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2</						

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
下水道事業計画区域内の整備推進事業（下水道計画区域内の整備）	事業計画（認可）面積 9,710.3haのうち、平成30年度末で8,935haが整備済となった。これを「第4次静岡市上下水道事業中期経営計画」に基づき、令和4年度末までに新たに120haを整備し、9,055haとする。 （令和2年度下水道の整備済み面積：28ha）	1	1	1,049,728	1,104,160	1,065,708	9.0	0.0	0.0	○
			2	1,033,621	677,000	1,168,203	14.1	0.9		
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	未整備地域732haの中には工業地域、空き地、農地が点在するなど、市街化区域内にあっても比較的人口密度が低い地域があり、住民が所有する土地が大きく、受益者負担金が高額になるケースや、人口密度が高い地域においても、地形の関係から民地内にポンプ施設を設置せざるを得ないなど、住民の理解が得られず一部の地域で整備が滞っている。	未整備地域においては、市民ニーズを把握し、投資効果も見据えながら、地元への事前の説明を丁寧に実施するほか、場合によっては個別に土地の所有者と整備スケジュールの調整を行い理解を求めていく。
令和2年度	未整備地域の中には地形の関係から民地内にポンプ施設を設置せざるを得ない箇所があり、これまで住民への説明や合意形成に取り組んできた。今後は、各戸に合わせたポンプ施設の設計・工事が必要となる。	ポンプ施設が必要な家屋に対し、個別に整備スケジュールの調整や事前調査を行うとともに、適切な時期に予算を確保し、ポンプ施設の設計・工事を実施していく。
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—